

人生の最終段階の医療における適切な意思決定支援に関する指針 Q & A

(患者本人及びご家族等の方を対象)

- Q 1. 意思決定支援の過程で一度決めたことは、その後変更することはできないのでしょうか。
- A 1. 変更はいつでも可能です。本指針にも示している通り、意思や考え方は時間の経過、心身の状態の変化、医学的評価の変更等に応じて変化することを医療チームは認識しています。医療チームは適宜必要に応じて、適切な情報の提供と説明を行い、家族等を含め話し合いを重ね、患者本人の意思決定を尊重し、医療・ケアを提供することに努めます。
- Q 2. 家族等の等とは、どのような人をさすのでしょうか。
- A 2. 患者本人が信頼を寄せ、人生の最終段階を支える存在であるという趣旨であることから、法的な意味での親族関係のみを意味せず、より広い範囲の人(親しい友人等)を含み、複数人存在することも否定されるものではありません。
- Q 3. 医療チームとはどのようなものなのでしょうか。
- A 3. 医療チームの構成員には明確な定義・条件はなく、患者本人や治療内容により担当の医師と看護師をはじめとする医療従事者で構成されます。
- Q 4. 意思決定支援の頻度はどのようなものなのでしょうか。
- A 4. 明確な定めはありません。医療チームは、丁寧に、患者本人の意思をくみ取り、関係者と共有して取り組むことを意識しています。また、意思や考え方は、時間の経過、心身の状態の変化、医学的評価の変更等に応じて変化することを認識しています。適切な情報の提供や説明が必要な際、意思決定について支援が必要な際は、遠慮なく医療チームにご相談ください。
- Q 5. 患者本人とその家族等の意思が異なる場合、家族等の意向は聞き入れてもらえないのでしょうか。また、患者本人の意思を確認した後に容態が変わりその意思を確認できなくなった場合、家族等が患者本人の意思とは異なる医療・ケアの実施または拒否を望んでも変更できないのでしょうか。
- A 5. いずれの場合も、患者本人の認知能力などに支障がなく適切に意思表示ができる状況であること(あったこと)を前提として、原則として、患者本人の意思が尊重されるべきであると考えています。家族等に異なるご意見

がある場合は、必要に応じて医療チームの支援を受けながら、患者本人及び家族等で話し合いを重ねていただくことが望ましいと考えます。

Q6. 指針やガイドライン等を確認したが該当するものが見つからない場合、どうすればよいでしょうか。

A6. 医療チームにご相談ください。